

各関係機関長 殿
病害虫防除員 殿

徳島県立農林水産総合技術支援センター
病害虫防除所長
(公印省略)

平成22年度農作物病害虫発生予察情報について

平成22年度農作物病害虫発生予報第3号を発表したので送付します。

平成22年度農作物病害虫発生予報第3号

平成22年5月28日
徳島県

・普通作物

早期水稻

いもち病(葉いもち)

1) 予報内容

発生時期 平年並(前年並)

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 5月後半の巡回調査では、発生を認めていない(平年同時期は発生圃場率が1.2%、発病度が0.01)。また、補植用置き苗での発生も認めなかった(過去10年間の発病率：平成12年4.2%、平成13～15年は未確認、平成16年は4.8%、平成17～21年は未確認)。

(2) 5月28日発表の1ヶ月予報では、気温は低く、降水量は平年並～少ないと予測されており、やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 本田葉いもちの伝染源になるので、置き苗は補植が終わり次第速やかに処分する。

(2) 早期発見に努め、発生が認められたら直ちに液剤による防除を行なう。また、常発田では粒剤を予防散布する。

普通期水稻

いもち病(葉いもち)

1) 予報内容

発生時期 平年並(前年並)

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 5月後半の巡回調査では、発生を認めていない(平年同時期は発生圃場率が1.5%、発病度が0.1)。また、補植用置き苗での発生も認めなかった(過去10年間の発病率：平成12年2.4%、平成13～21年は未確認)。

(2) 5月28日発表の1ヶ月予報では、気温は低く、降水量は平年並～少ないと予測されており、やや発生助長的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 本田葉いもちの伝染源になるので、置き苗は補植が終わり次第速やかに処分する。

- (2) 早期発見に努め、発生が認められたら直ちに液剤による防除を行なう。また、常発田では粒剤を予防散布する。

イネミズゾウムシ

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 5月後半の巡回調査では、発生圃場率は15.8%でほぼ平年(21.4%)並であるが、一部に多発生圃場があるため25株当たり成虫数は1.4頭であり平年(0.6頭)より多い。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 根腐しやすい水田では幼虫被害が助長されるので、深水を避け根を健全に保つ。

サツマイモ

アブラムシ類

1) 予報内容

発生量 平年より多く(前年より多い)、発生程度は「中」

2) 予報の根拠

- (1) 5月後半の巡回調査では、発生圃場率が81.8%、寄生株率が24.4%であり、平年(38.6%、6.7%)と比べて発生が多い(過去10年で一番多い)。

- (2) 5月28日発表の1ヶ月予報では、気温は低く、降水量は平年並～少ないと予測されており、発生に中立的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には、充分な量の薬液を散布する。

イモキバガ

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 5月後半の巡回調査では、発生を認めていない(平年同時期は発生圃場率が13.0%、被害葉率が0.2%)。

- (2) 5月28日発表の1ヶ月予報では、気温は低く、降水量は平年並～少ないと予測されており、発生に中立的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 通常の発生であれば、特に防除は必要ない。多発した場合には、食葉性害虫等の防除に併せて薬剤を散布する。

ハダニ類

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で、発生程度は「少」

2) 予報の根拠

- (1) 5月後半の巡回調査では、発生圃場率が9.1%、寄生葉率が1.8%であり、平年(28.0%、3.8%)と比べてやや発生が少ない。

- (2) 5月28日発表の1ヶ月予報では、気温は低く、降水量は平年並～少ないと予測されており、発生に中立的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

- (1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には、充分な量の薬液を散布する。

果樹

カンキツ

ヤノネカイガラムシ

1) 予報内容

発生時期 平年より遅い(前年より遅い)

2) 予報の根拠

(1) 県予察圃場での第1世代幼虫の発生は5月21日に初確認された(平年：5月14日, 前年：5月10日)。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 薬剤による防除適期は, IGR剤の場合には発生確認の10~15日後, 有機リン剤の場合には35~40日後の時期である。

ミカンハダニ

1) 予報内容

発生量 平年よりやや少なく(前年より少ない), 発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 5月前半の巡回調査では, 発生圃場率は50.0%でほぼ平年(42.3%)並であるが, 寄生葉率は0.9%で平年(8.9%)と比べて低い。

(2) 5月28日発表の1ヶ月予報では, 気温は低く, 降水量は平年並~少ないと予測されており, 発生に中立的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。防除の際には, 充分な量の薬液を散布する。

(2) ミカンハダニは薬剤抵抗性が発達しやすいので, 同一系統薬剤の連用を避ける。

果樹共通

果樹カメムシ類

1) 予報内容

発生時期 平年より早い(前年より遅い)

発生量 平年並(前年並)で, 発生程度は「少」

2) 予報の根拠

(1) 今春の予察灯調査において, 上板町では平年(4月25日)より早い4月20日にツヤアオカメムシの初誘殺を確認した。4月中の誘殺虫数は少なかったが, 5月に入り, やや増加傾向にある。

(2) 5月28日発表の1ヶ月予報では, 気温は低く, 降水量は平年並~少ないと予測されており, 発生に中立的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 果樹カメムシ類が多発する年は, 幼果期にあるカンキツ類はもとより, 間もなく収穫期を迎えるウメ等への被害も大きいので, 防除を励行する。

(2) 果樹園周辺の雑木林から成虫が飛来するので, 園内を巡回し飛来に注意するとともに, 飛来を認めたら早急に防除を行なう。

(3) 夜行性の虫なので, 薬剤の散布は夕方か早朝に実施する。

(4) 移動性が大きいので, 広域一斉防除により防除効果の向上に努める。

[ツヤアオカメムシの予察灯への誘殺数]

月半旬	浦 田 丁					上 板 田 丁				
	2010年	2009年	2008年	2007年	平 年	2010年	2009年	2008年	2007年	平 年
5.1	12	5	5	9	37	23	6	4	51	49
5.2	57	42	8	12	90	70	21	2	26	85
5.3		130	1	21	52	0	32	0	32	84
5.4		51	8	7	82	138	35	5	27	47
5.5		9	56	77	118	81	36	8	130	64
5.6		60	28	9	168		17	3	42	37
6.1		28	8	27	98		9	3	14	27

[チャバネアオカメムシの予察灯への誘殺数]

月半旬	勝 浦 田 上					板 田				
	2010年	2009年	2008年	2007年	平 年	2010年	2009年	2008年	2007年	平 年
5.1	2	0	11	4	12	1	3	5	7	21
5.2	10	17	1	9	54	6	46	3	32	50
5.3		33	0	16	25	0	86	0	18	44
5.4		12	1	15	41	13	11	5	7	17
5.5		3	5	57	72	17	4	8	23	24
5.6		5	3	12	76		4	2	18	25
6.1		5	2	14	25		5	2	8	53

・野菜

夏ネギ

ネギハモグリバエ

1) 予報内容

発生量 平年並(前年並)で,発生程度は「中」

2) 予報の根拠

(1) 5月後半の巡回調査では,発生圃場率は87.5%であり,平年(62.8%)よりやや高いが,葉の被害度は3.1で,平年(6.6)より低めである。

(2) 圃場において成虫の発生が確認されている。

(2) 5月28日発表の1ヶ月予報では,気温は低く,降水量は平年並~少ないと予測されており,発生に中立的な気象条件である。

3) 防除上注意すべき事項

(1) 播種時又は定植時に粒剤を土壌処理し,被害発現を遅らせる。

(2) 多発すると防除が困難になるので初期防除に努める。

(3) 被害葉は有力な発生源となるので,絶対に圃場周辺に野積み・放置せず,速やかに処分する。

(4) 春から夏にかけて発生が多く,特に5~6月が少雨の年に多発し,残暑が続くと秋口にも発生が多くなる。

・その他

1) 薬剤の使用にあたっては必ず使用基準を遵守し,周辺作物等へ飛散しないようにして下さい。

2) 水田に薬剤を使用したときは,7日間以上止水して下さい。

発生量の表示

発生程度: 甚>多>中>少>無

発生量: 多い>やや多い>並>やや少ない>少ない

徳島県立農林水産総合技術支援センター病害虫防除所
 テレホンサービス : 0 8 8 3 (2 6) 1 1 9 9
 U R L : <http://www.green.pref.tokushima.jp/boujyosyo/>
 病害虫の発生予察情報,発生状況,防除法等をお知らせしています。